

食育事業取組報告書(住吉小学校)

食育活動区分		(該当するものを口で囲む) 育てる ・ <u>作る</u> ・ <u>食べる</u> ・ 返す	実施年月日	令和6年 11月18日～29日
教科名	家庭科		指導者	
単元名	まかせてね今日の食事			
ねらい	・栄養バランスを考えてお弁当の内容を考えることができる。 ・栄養バランスのよい弁当を作ろうとする意欲を持つことができる。			
児童・生徒の活動			支援・指導上の留意点	資料
【食育授業】 ○弁当作り経験を確認する。 ○弁当の写真を見て、足りないものに気付く。 ○弁当作りのポイントを知る。 ○弁当の献立を考える。 ○授業から分かったことや気付いたことをまとめる。 【調理実習】 ○道具の使い方や料理の手順を確認する。 ○少人数の班になって、調理する。 ○使ったものの片付けを行う。 ○全員で食べる。 ○振り返りを書く。			【食育授業】 ・一人でお弁当を作ったことがあるかを尋ね、「一人で弁当を作ること」に意識を向けさせる。 ・弁当の写真から栄養バランスの偏りに気付かせ、バランスの良い弁当がどんなものかを考えさせる。 ・弁当作りのポイントを全体で確認し、自作弁当の献立をポイントに沿って考えさせる。  【調理実習】 ・子どもたちを前方に集め、全員で包丁の使い方や食材の切り方などを確認する。 ・班で協力し、指導者の助言やレシピを参考にして調理する。 ・班で分担して、調理道具や食材の片付けを行う。 ・全員で、残さず、楽しく、おいしく食べ、手作り弁当の良さを実感させる。	・弁当の写真 ・弁当ポイントの掲示物  ・調理手順 ・道具の使い方
成果と課題	○児童は、適切な栄養バランスを学習することで、好みの料理だけを食べるのではなく、成長のために苦手な料理も食べようという気持ちを育むことができた。 ○児童は、「一人で弁当を作る」ことへの関心が増え、家庭で弁当を作ることができた。 ○児童は、料理することを通して、班で協力することの良さや料理を作ってくれる家族への感謝の気持ちを抱くことができた。 △広報活動が不十分であった。校内掲示などで実際に弁当を作った児童を紹介し、6学年だけでなく全校児童が弁当や栄養について興味関心を高められるような取組を行っていきたい。			
家庭・地域の連携	・学年だよりや学級だよりで、食育授業や調理実習で学んだことを紹介し、家庭でも取り組めるようにした。 ・学校だよりやHPで、様々な学年の食育授業の様子を紹介した。 ・他学年では、学習支援ボランティアを募り調理の指導や補助をしていただいたり、来賓として地域の方を招いて児童が調理した料理と一緒に食べたりした。			